

適正な田植作業の実践と、地力に応じた基肥施用、
的確な水管理により、初期生育を確保しましょう！

1 育苗ハウスの温度管理

参照ページ:p51

- ・換気を徹底し、ハウス内の温度が25°C以上にならないようにしましょう。
- ・田植えの10日前頃からは昼夜ともにハウスのすそを開けて、外気に慣らしましょう。

- ＜令和5年産の重点対策＞
- ① 5/15 中心の田植えに合わせた育苗作業
 - ② 初期茎数の確保
 - ③ 生育ステージに応じた水管理
 - ④ 適期防除
 - ⑤ 適期刈取り

2 田植え作業

参照ページ:p55~56

- ・田植前に植付爪の状態をチェックし、摩耗している場合は交換しましょう。
- ・強風など天気の悪い日の田植えを避けましょう。

表1 田植機の設定

項目	設定	留意点
栽植株数	70株/坪 ※株間の目安:16cm 2m間に12~13株	作業速度や土壤条件により増減するため、試し植えをして確認・再調整する
植付本数	3~4本	掻き取り量が「標準」では多くなりやすいため、「やや少なめ」とする
植付深さ	3cm (図1参照)	「標準」ではやや深めになるため、「やや浅め」とする

R5重点技術対策

初期茎数の確保

適切な栽植株数、植付本数、植付深さで確実に植え付け、初期茎数を確保しましょう。

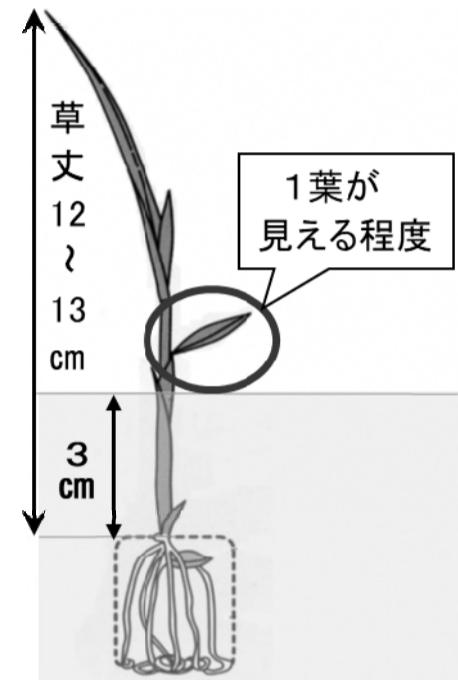


図1 適正な植付深さ

3 基肥施用

参照ページ:p56

- ・基肥量は、土壤区分や圃場条件に応じて適正量を施用し、初期生育を確保しましょう（表2、3）。
- ・作業中は、肥料が落ちていることや、使用した袋数を確認し、予定の規定量を確実に施用しましょう。

◎規定量を確実に入れるポイント

- ・田植前に施肥ロール、ブラシを点検・清掃する（特に、施肥ロール部の詰まりはコンプレッサー等で除去）。
- ・肥料袋の裏に記載してある比重を確認し、圃場のスリップ率や田植機の特性を把握して、目盛を調整する。

表2 コシヒカリの基肥施用の目安

土壤区分	基肥一発栽培				分施栽培 ※	
	〈標準タイプ〉		〈省力タイプ〉		側条施肥	
	肥料名	施用量 /10a	肥料名	施用量 /10a	肥料名	施用量 /10a
砂壌土 壤土	Jコートコシヒカリ1号	35kg	けい酸加里入り Jコートコシヒカリ1号	41kg		32kg
半湿田 黒ボク土	Jコートコシヒカリ2号	30kg	けい酸加里入り Jコートコシヒカリ2号	35kg	基肥206	25kg
粘質土		27kg	Jコートコシヒカリ2号	32kg		23kg

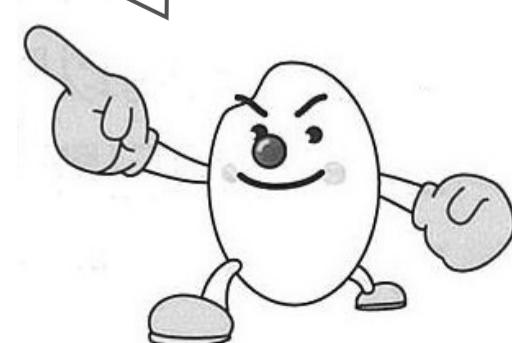
※ 分施体系の全層施肥の方は、各営農経済センター又は農林振興センターまでご相談ください。

- ・「てんたかく」は、過剰粒数による「登熟歩合の低下」と「倒伏」を防ぐため、基肥量が過剰にならないよう注意しましょう。

表3 てんたかくの基肥施用の目安

土壤区分	基肥一発栽培		分施栽培	
	標準タイプ		側条施肥	
	肥料名	施用量 /10a	肥料名	施用量 /10a
砂壌土 壤土	LPs早生専用	40kg		40kg
半湿田 黒ボク土		35kg		35kg
粘質土		30kg		30kg

土壤区分、肥料の種類により施用量が異なります。
必ず確認しましょう。



4 田植後の水管理

参照ページ:p57

- 田植後は速やかに入水し、上から2枚目の葉が隠れる程度の「やや深水管理」を行いましょう。
- 活着後は水深2~3cmの「浅水管理」で田水温を高め、分けつの発生を促進しましょう。
(以上図2)
- 入水は早朝または夕方以降に短時間に行い、日中は止水しましょう。
- 強風時や低温時は、やや深水管理で苗を保護しましょう。
- 中干し開始までは浅水管理を続けますが、湛水状態が続くと根腐れが発生する場合があるため、必要に応じて晴天日に軽い田干しを行いましょう。

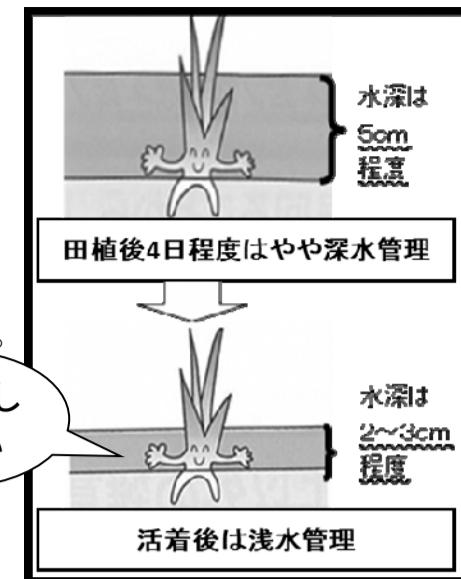


図2 田植後の水管理のイメージ

5 除草剤の散布

参照ページ:p58

- 代かきから田植えまでの日数は7日以内になるよう作業計画を立てましょう。
- 雑草の発生状況に応じて、使用する剤や体系を決めましょう(図3参照)。
- 散布の際は、水口、水尻をしっかりと止め、田面が露出しないよう水深5cm程度を保ちましょう。
- 散布後7日間は止め水管理とし、水田外への流亡を防ぎましょう。

<田植同時除草剤使用上の注意点>

- 植穴の戻りや、水持ちの悪い圃場では使用を控える。
- 軟弱徒長苗の使用や、極端な浅植え・深植えは避ける。
- 移植終了後、速やかに入水する。
- 薬害や除草剤処理層の破壊を防止するため、補植作業は行わない。

R4は田植同時除草剤の不適切な使用により、多くの薬害が発生しています。

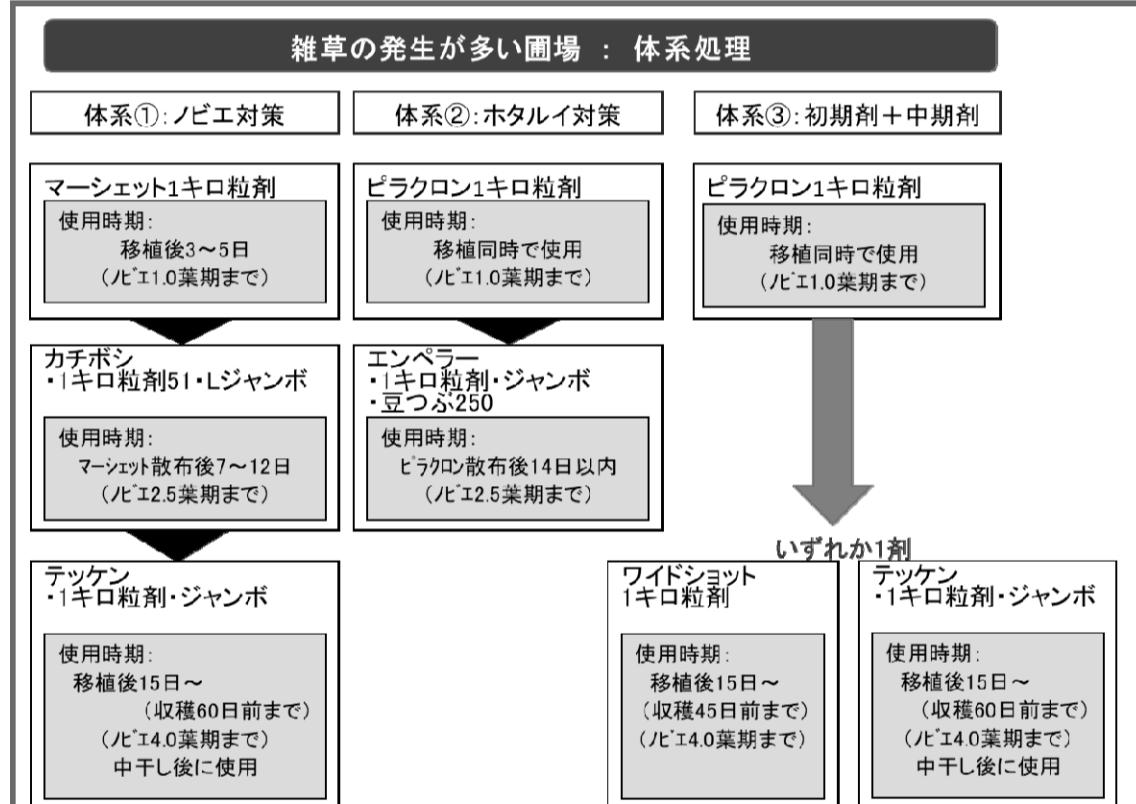
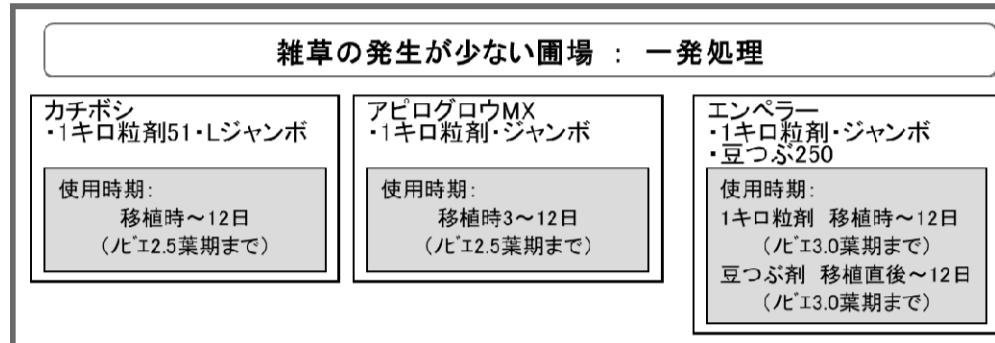


図3 移植雑草防除体系例

生産記録簿兼GAPチェックシートの記帳

作業を実施する毎に、記録簿を記入しましょう。

記録簿はJAアルプスのホームページからも入手できます。

種子や苗の購入先、育苗方法など、
もれなく記入してください。
適宜確認シートで作業内容を
チェックしましょう！



2023年産米 生産記録簿 兼GAPチェックシート		
品種名 :	栽培地名	
※出荷時に記録簿を提出用紙に必ず提出してください。 □新規栽培等は育苗業者で購入している □ 肥料供給農場等を購入している □ 販売業者で販売業者を購入している □ 色色() 販売業者で販売業者を購入している □ 分成分量() 販売業者で販売業者を購入している □		
生産組合名	月 日～	月 日
生産者氏名 (組織名)	月 日～	月 日
住 所	月 日～	月 日
電 話 番 号	月 日～	月 日

2023年度米生産記録簿		
栽培地名		
生産組合名		
生産者氏名		
生産者番号		
栽培地名		
生産組合名		
生産者氏名		
生産者番号		
栽培地名		
生産組合名		
生産者氏名		
生産者番号		
栽培地名		
生産組合名		
生産者氏名		
生産者番号		

春の農作業安全運動実施中(3/1～5/31)

- トラクターや田植機の使用前には、必ず安全確認を行いましょう。
- とやまGAP規範に基づき、事前に危険を把握し、改善に努めましょう。

春の農繁期は農作業事故が発生しやすい季節です。農業者の安全確保に留意しましょう。

お知らせ

○消毒済み種類の無料廃棄処分について

4月24日(月)～5月29日(月)まで、フレコンを設置します。廃棄にあたっては必ず袋から出してフレコンに投入してください。

◎設置場所:立山(立山管理センター)、上市(上市営農経済センター(配達))、滑川(滑川営農経済センター(配達))